

【第1号議案補足事業報告事項】

特別セミナー報告「2022年日本の広告費」徹底解説！セミナー

■開催日：2023年8月31日（木）14：00～15：30

■開催場所：TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前 トワイライト

■参加数：108名（会員社、一般、大学関係を含む）＊満席

■概要：

テーマ：「2022年 日本の広告費」徹底解説！アフターコロナの広告市場と2025への新潮流

講師：北原 利行氏（株）電通 電通メディアイノベーションラボ 研究主幹

北原講師から「2022年の概況や媒体ごとの詳細分析」「日本のメディア環境や広告市場の変化」について消費者の生活行動やデジタルとアナログ、チラシや新聞の最新活用事例、コネクTVでの視聴環境まで広範囲に現状整理と考察を交え、2025年開催の万博を見据えた大阪・関西のその向かう先についてのヒントが示された。



リアルセミナー会場風景



北原 利行 研究主幹

関西学生広告連盟総会 講師派遣

■開催日：2023年8月6日（日）14：00～15：30

■開催場所：関西大学 千里山キャンパス 凜風館 ■連盟学生参加数 12名（4大学計）

■概要： テーマ：「動画広告から考えるクリエイティブ」

講師：株式会社タイガータイガークリエイティブ CMプランナー

細田 佳宏 氏（ホンダ ヨシヒロ）＊第56回やってみなはれ佐治敬三賞受賞



■開催日：2024年1月13日（土）11：00～12：30

■開催場所：関西大学 千里山キャンパス 凜風館 ■連盟学生参加数 25名（4大学計）

■概要： テーマ：「雑誌編集最前線！雑誌の企画、制作過程と表現」

講師：株式会社京阪神エルマガジン社 SAVVY編集長 竹村匡己 氏



全広連 広告大学 (旧 夏期広告大学) 報告



今年度より (令和5年度) 全広連広告大学は「夏期広告大学」と「秋のシンポジウム」をあわせ、「全広連広告大学」として全6講義を専用オンラインで配信し受講機会を提供。

■講座配信期間：2023年8月8日 (火) ~11月15日 (水)

■テーマ：「クリエイティビティの力で、できること。」

■登壇 (演題・講師)

第1回 8/8 (火) ~ 眞鍋亮平 「クリエイティビティで、できること。」

第2回 8/23 (水) ~ 山崎博司 (株)博報堂 「コピーで、できること。」

第3回 8/30 (水) ~ 関戸貴美子 (株)電通 「アートディレクションで、できること。」

第4回 9/6 (水) ~ 嶋浩一郎 (株)博報堂/(株)博報堂ケトル 「PRで、できること。」

第5回 9/13 (水) ~ 中村洋基 PARTY/ヤフー(株)/(株)電通デジタル

「テクノロジーで、できること。」

第6回 9/20 (水) ~ 細川美和子 (つづく) 「ブランドミッションで、できること。」

ACC 2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 近畿地域審査会報告

63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDSの近畿地域審査会をCM合同研究会の協力で実施。

幹事社はテレビおよびラジオ審査ともに朝日放送が主管。また同研究会の副委員長4名、委員21名が審査員として対応。

近畿地区通過作品は11/1~2に実施された本選に臨み、以下多くの入賞を果たした。

<ラジオ&オーディオ部門>

- ・京阪電気鉄道 ひらかたパーク
- ・ジャパンパーク&リゾート (姫路セントラルパーク)
- ・あみだ池大黒大阪もちまる菓

ACCブロンズ
ACC地域賞
ACC地域ファイナリスト

<テレビ&フィルム部門>

- ・上田学園 上田安子服飾専門学校
- ・中央経済社

ACCファイナリスト
ACC地域ファイナリスト

全広連関連

■令和5年版 全広連名鑑が発行

同名鑑は今年度をもちまして廃刊となります。個人情報保護法の5000名適用除外規定が廃止された。名鑑への一定のニーズがあることは認識しているものの、現状を総合的に考慮の上、2024年度全広連名鑑発行は廃止となりました。

※大阪広告協会独自の会員名簿は継続して発行。

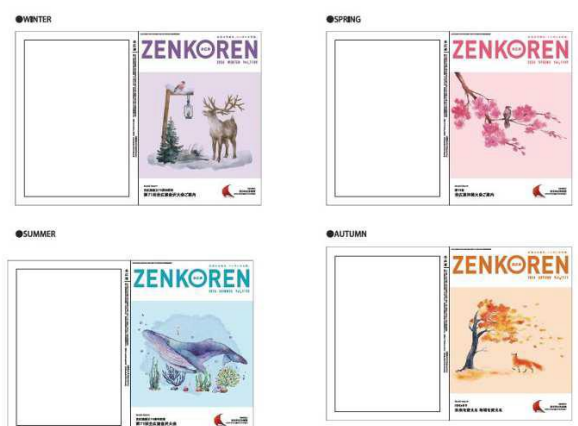
■機関誌「全広連」リニューアル

年6回発行から「年4回発行」に伴い、表紙デザインと号数呼称が変更。

「全広連」から「ZENKOREN」表記に変更。

また呼称変更されます。

- 1月 (1/5) →Winter号
- 4月 (4/5) →Spring号
- 7月 (7/5) →Summer号
- 10月 (10/5) →Autumn号



デザインはイメージ

第6回 HaHaHa Osaka Creativity Awards 2023 報告



- 開催日 : 2024年2月14日 (火) 14:00~17:30
- 開催場所: 大阪なんば 味園ユニバース (大阪府大阪市中央区千日前2-3-9)
- 概要 : 審査会 一般応募数55作品 (TV WEB: 28 ラジオ音声: 17 長尺動画: 10)
学生応募75作品 (TV WEB: 58 ラジ17) の応募があった
審査委員長: 茂木健一郎氏/脳科学者
審査員: 中治信博氏/ワトソン・クリック
司会兼審査員: 西田二郎氏/読賣テレビ放送 司会サポート: 中牟田佳苗氏/大広WEDO

- 学生部門課題提供社 (会員社): 江崎グリコ、サントリーHD、ハウス食品、パナソニック、ロート製薬の各社様
- 特記/詳細事項

今回は4年振りにリアル開催を実現。審査員、ファイナリストはもちろん、学生、指導教官、課題提供会員社から協会会員、報道機関まで総勢200名が集った。審査・授賞式終了後は交流会も実施された。

- 贈賞 <学生部門> テレビ部門最優秀賞は、大阪芸術大学 芸術学部 放送学科 広告コース/高草木 海音さん。
ラジオ部門最優秀賞は梅花女子大学 文化表現学部 情報メディア学科 遠山ゼミ9期生/長濱 里咲さん。
<一般部門>

グランプリ並びにHaHa賞

セイバン 長尺動画 天使のはねランドセル「ランドセル選びドキュメンタリー」
(電通、電通クリエイティブX、キャンディーフィルム)

Ha賞

パナソニックハウジングソリューションズ(株) ヒートポンプ給湯機「エコキュート」
「生きてますか?」篇 (株大広、うたみな)

HaHaHa賞

ロート製薬(株) 『ローキの歌』篇 (rohto x rohkiプロジェクト)
(株電通、(株)電通クリエイティブX)



一般部門受賞者と審査委員



茂木委員長と多彩な審査員の皆様



学生部門課題商品提供 会員の皆様



茂木審査委員長と中治氏、西田氏



学生部門受賞者と審査委員



準備に奔走する正副委員長と会員の皆様

- グローバル事業: 香港アートセンターからのインビテーション
今年も中国の香港アートセンターからインビテーションが届き、HaHaHa受賞作品がカンヌ受賞作品等とともに9作品が現地で上映された。(開催期間は2023年9月14日~10月1日)

主催: 香港アートセンター (非営利で非政府な団体) 現地ルイス・クー・シネマにて開催。
同センターはアート学校で、劇場や展示会場も併設。
内容: 29回目を迎えるアート・オブ・コマーシャルで世界のトップレベルの広告作品上映。

出品作品:

1. AC ジャパン 2022AC全国キャンペーンA 寛容ラップ 60秒
2. ぐるなび 人間でよかった! 30秒×3
3. 牛乳石鹸共進社 銭湯支援ムービー「Sento is paradise」篇動画 5分
4. 小学館 サッカー漫画「アオアシ」"数十秒のWEBドラマCMシリーズ
「4月のキックオフ」全11話" 動画 45~71秒×11本 (615秒)
5. 九州旅客鉄道/西日本シティ銀行/LINE fukuoka 九州新幹線 全線開業 10周年
企画 流れ星新幹線 動画 3分
6. 滋賀県 これからの暮らし・ニューノーマル「ニュートンに学ぶ、これからの滋賀
ノーマル」 動画 2分40秒
7. 日清食品ホールディングス 日清食品 カップヌードル カップヌードル「8つの味 篇」
テレビ 30秒×1
8. 大阪電気鉄道 ひらかたパーク 超ひらパー兄さん「誰や」篇「いろはかるた」篇 テレビ 15秒×2
9. 関西電気保安協会 ある日突然関西人になってしまった男の物語 動画3分



第56回大阪マスコミ年賀交歓会

- 開催日 : 2024年1月10日 (水) 11:00~12:00
- 開催場所: リーガロイヤルホテル大阪
- 概要: 大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会 (OAAA) との共催事業。

大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会の泉理事長の挨拶の後、大阪広告協会 山田理事長とともに乾杯が行われた。コロナ禍前の通常形式で開催され380名を超える方々が参加し、お楽しみイベントも加わり、盛会かつ会員同士の交流が深まった。



OSAKA AD-LAB セミナー

- 開催日 : 2024年3月6日 (水) 14:00~15:30
- 開催場所: ZOOMオンラインセミナー (WE Bでの視聴参加) 参加申し込み83名
- 概要:

テーマ: ~生成AIとマーケティング~
『AIと人間が創り出す新しい広告コミュニケーション』

ゲストスピーカー: 栗原 聡 氏 (慶應義塾大学工学部教授 人工知能研究者)

モデレーター: 大森剛介 氏 (AD-LAB委員会委員長/マンダム 執行役員)

インタビュアー (副委員長):

北村昭宏氏 (産経新聞大阪本社メディア営業局企画開発部部長)

三田谷卓郎氏 (読賣テレビ放送 営業局営業部長)

石橋太朗氏 (大広 大阪ブランドアクティベーションプロデュース

本部D2Cビジネス推進局デジタルプロデュースチームチームリーダー)

漫画ブラックジャック (週刊少年チャンピオン) の生成画像制作担当の慶応大学の栗原教授を招聘し、オンラインセミナーとセッションを開催。急速に進む生成AIへの広告やメディアへの導入、媒体社 (新聞・放送、WEBなど) 広告会社・広告主の視点でAIの今後と具体的な利活用や導入課題の解決方法を学んだ。

